

機械器具 74 医薬品注入器
一般医療機器 経腸栄養注入セット 70400000
ディスポカテーテルチップシリンジ(H)

再使用禁止

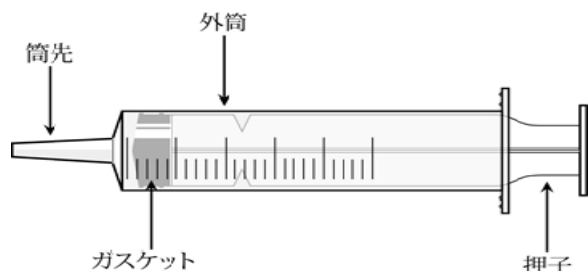
【禁忌・禁止】

再使用禁止、再滅菌禁止

【形状・構造及び原理等】

1. 形状・構造

本品は外筒、押子、ガスケットからなる。



- 筒先はカテーテルチップのため、一般注射針や静脈ライン等のメスルアーコネクタには接続できません。
- シリンジキャップは筒先に付属しています。

2. 材質

外筒・押子・シリンジキャップ:ポリプロピレン
ガスケット:イソプロピレンゴム

【使用目的又は効果】

経腸栄養ラインを通じた内服液剤投与など、注射以外の液剤投与に使用される注射筒型手動式医薬品注入器であり、カテーテル等に接続して、液体を注入するか引き抜くために用いることが多い。

【使用方法等】

- 包装を開封し、注射筒の方を持ち、包装内から取り出します。
滅菌されているのでそのまま使用できます。
- シリンジキャップを外します。
- 押子を先端まで押し、内部の空気を完全に押し出してください。
- カテーテルと確実に接続し、薬剤の投与等、目的に応じて使用してください。
- 薬液等をシリンジに入れた状態で一時的に保管する場合は、シリンジキャップを筒先に嵌合してください。

《使用方法等に関連する使用上の注意》

- 他の医療機器と併用する場合は、確実に接続、又は取り付けられていることを確認し使用してください。
- シリンジポンプを使用する際は、以下の事項を遵守してください。
 - シリンジポンプのメーカーに適用の可否を確認してください。
 - 注入開始時には、シリンジの動作状態、薬液の減り具合や投与部位を必ず確認してください。また、注入中にも定期的に巡回時等で同様の確認を行ってください。
 - 微量注入で使用する場合は、注入ラインの閉塞が発生していないこと等、注入状態に注意してください。[設定流量が低くなるにつれ、閉塞発生から検出までの時間が長くなるため、長時間注入が中断する場合はあるため。]
 - 薬液は室温になじませてから使用してください。[冷えたまま使用するとシリンジの押子の摺動抵抗が増加し、閉塞警報が多発する原因となるため。]
- 接続部に薬液、又は血液を付着させないでください。[接続部の緩み等のおそれがあります。]
- 使用中は、本品の破損、接続部の緩み、液漏れについて定期的に点検を行ってください。
- 本品に衝撃や強い力を加えないでください。[破損のおそれがあります。]

- 押子は真つすぐに引いてください。[斜めに引くと、ガスケットと筒との密着性が悪くなり、液漏れや空気混入、又はガスケットが外れるおそれがあります。]
- キャップ嵌合時は以下の事項を遵守してください。
 - 過度な締め付けをしないでください。[筒先に破損が生じ、液漏れや空気の混入を引き起こすおそれがあります。]
 - 横方向の力を加えないでください。[筒先に湾曲や破損が生じ、液漏れや空気の混入を引き起こすおそれがあります。]
- 外筒印刷部の目盛を超えて押子を引かないでください。[押子が外筒から抜けて液漏れや空気混入のおそれがあります。]
- 本品にて薬液等を缶所の口に直接投与しないでください。

【使用上の注意】

1. 重要な基本的注意

- 血管系ラインとの接続はしないこと。[血管を通じて経腸栄養ラインに投与されるべき内服液剤等の注射以外の液剤が投与され、重篤な症状になるおそれがある。]
- 包装が破損しているものや汚れているもの、製品に破損、接続部から液漏れ等の異常が認められるものは使用しないこと。
- 薬液の吸引後は直ちに使用すること。[薬液が結晶化し、針管に詰まるおそれがある。]
- 造影剤等の高圧注入には使用しないこと。[破損のおそれがある。]
- 使用中は本品の破損、接続部の緩み、空気混入、液漏れ及び詰まり等について十分注意すること。
- 医薬品の種類によっては、外筒の内側に塗布されているシリコーン油が析出することがあるので注意すること。シリコーン油が析出した場合には、適切な処置をとること。
- 外筒を強く握る等、圧迫するような負担をかけないこと。[圧迫によりガスケットと外筒との密着性が悪くなり、液漏れや空気混入のおそれがある。]
- 外筒印刷部をこすったり、薬液が付着した状態で放置しないこと。[目盛等の印刷部が剥がれるおそれがある。]
- 本品の運搬・操作時には、振動や衝撃に注意すること。
- 本品は合成樹脂製品のため、温度が低下するにつれて強度が低下することから取扱いには注意すること。[破損のおそれがある。]
- 高温(60℃以上)の液体は吸引しないこと。[外筒の内側に塗布されているシリコーン油が剥がれ、押子の摺動が悪くなるおそれがある。]
- ガスケットに注射針等で傷をつけないこと。[破損により液漏れや空気の混入を引き起こすおそれがある。]
- 本品を鉗子等で過度の力で挟んだり、はさみ等の鋭利な器具で傷をつけないこと。[破損により液漏れや空気の混入を引き起こすおそれがある。]
- 外筒印刷部に薬液が付着した状態で放置しないこと。[印刷が剥離するおそれがある。]
- 押子を繰り返し前後させる等の操作時は、押子を汚染させないように十分注意すること。[押子を経由して外筒内が細菌汚染するおそれがある。]
- シリンジキャップは、菌の繁殖防止及び筒内薬液の効力低下防止に有効なものではない。

【保管方法及び有効期間等】

1. 保管方法

水漏れに注意し、直射日光、高温・多湿を避けて保管すること。

2. 有効期間

滅菌後 5 年、包装に表示(自己認証による)

【製造販売業者及び製造業者の氏名又は名称等】

■製造販売業者

株式会社エスイーエム
お問合せ先： 0572-26-8093

■製造（輸入先）

ジャンシー・ホンダ・メディカル・エキップメントグループ・
リミテッド社

[Jiangxi Hongda Medical Equipment Group Ltd.]

中国

[China]